



研究テーマ

- 1 各ライフステージにおける食育や地域の食文化の継承に関する研究
- 2 子育て支援に関する研究
- 3 学童期～青年期の性教育に関する研究



篠原 久枝

しのはら ひさえ
教育学部
家政教育講座
食物学・保育学

教授

キーワード

食育、食文化、味覚教育、
世界農業遺産、生活習慣、
プロジェクト学習、性意識、
性規範、性自認、子育て、
しつけ、虐待、保護者

特許情報・
共同研究・
応用分野など

・2018～2021 科研費基盤研究(C)「教員養成系学生を対象としたプロジェクト学習を活用した食育実践力向上プログラム構築」(研究代表者)
・2016～2018 科研費基盤研究(C)「しつけと称する虐待の生成メカニズム—未就学児の保護者を対象とした日韓比較」(研究分担)
・2014～2016 科研費 挑戦的萌芽研究「学童期を対象としたロコモ予防のための複合型プログラムの構築に関する基礎的研究」(研究代表者)

研究概要

＜食物領域＞

幼児期～青年期の食生活や生活習慣における課題の解明や、学童期を対象とした味覚教育、宮崎県内の郷土料理や行事食など食文化の継承に関する研究などを行っています。

＜保育・性教育領域＞

子育て支援に関する研究では、子育て環境やしつけのあり方に関する研究を行っています。性規範・性行動に影響を及ぼす性意識に関する研究や、性教育のあり方についての研究を行っています。

1 各ライフステージにおける食育や地域の食文化の継承に関する研究

幼児期～青年期の生活習慣と運動習慣、食習慣、栄養素摂取状況などの調査から、より良い食育のあり方について研究しています。特に近年は、ロコモ予備群と食生活との関連についての解明や、五感を育む味覚教育を取り入れた食育、世界農業遺産など地域の食文化を活用したプロジェクト学習などに力を入れております。

2 子育て支援に関する研究

男女共同参画社会を実現する一方策として、地域における子育て支援のあり方や子育て支援サービスの実態と課題、保護者の子育て上の悩みとなるしつけと虐待の境界などについて質問紙調査やインタビュー調査、韓国との比較研究を行っております。

3 学童期～青年期の性教育に関する研究

性意識や性規範、性自認などに影響を及ぼす因子の解明や今日における性教育の在り方や問題の所在、ならびに身体性の捉え方などについて調査研究を行っています。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

・技術相談ではありませんが、出前講座としての味覚教室の実施や、食意識や食行動、子育て支援、性教育などに関する研究などの相談。

メッセージ

・食は恵みであり、私たちのいのちを作るもの・繋ぐものと思います。性も食と関連の深いことが明かとなっております。食や性かわることについて、共に研究していきたいと思っております。